

定塚校を語る会

教頭:大島 一行

8月23日(木)、台風の影響で延期になっていた「定塚校を語る会」が、開催されました。各町内自治会長、各種団体長、スポーツ少年団代表、PTA、教職員等約60名が集まり、これからの定塚小学校について語り合いました。今年度は「重点目標具体化のための学校・家庭・地域の連携について」～子供たちの放課後の過ごし方～のテーマで、日頃感じておられる小学校の様子について、活発な話し合いが行われました。

特に、定塚小学校の児童の体力の低下、スマホ・ゲーム等メディアの使用時間、外で遊ばなく(遊ばなく)なった地域の実態等、様々な観点から貴重なご意見を頂きました。それらの中から、心に残ったお話を紹介します。

『地域の方々が、大きな愛情をもって、子供たちの未来を考えてくださっている。(教員)』

『大人も子供もコミュニケーションの質が変化してきている。しかし、全ては、あいさつから始まる。(地域)』

『体を使った遊びが大切。子供たちに伝えていかなければ…(PTA)』

『情報を共有することが大切。集まる機会を増やしたい。(地域)』

『先生方も大変。がんばっておられる。応援したい。(地域)』

最後の伊藤PTA会長さんのあいさつの中に、「定塚校下の方々は、常に、子供たちを見守ってくださっている。」「子供たちは地域で育っている。」とお話しされました。

これからも、学校・地域・家庭の連携を大切にする定塚校であり続けたいと思います。



4年生 二上での宿泊学習

4学年主任 森田奈保美

9月5日、6日と4年生は高岡市二上まなび交流館で、初めての集団宿泊学習を体験しました。

1日目の午前中は、様々なミッションに挑戦するインシアティブゲームを行いました。子供たちは、知恵を出し合い、時には手を取り合い、協力して取り組みました。終わる頃にはさらに班の絆が深まっているようでした。

午後からは、追跡ハイキングに挑戦しました。前日の台風の影響が心配されましたが、安全に活動することができました。そして、班の仲間と問題を解きながら、声を掛け合いゴールし、友情を深めました。夜のキャンドルサービスでは、「火の神」から「友情の火」「感謝の火」「努力の火」「規律の火」をもらい、みんなで分け合いました。

2日目は、野外炊飯を行いました。普段、火をおこす体験の少ないかまど係の子供達は、けむりに悪戦苦闘しながら一生懸命うちわで火をあおいでいました。また、調理係は手を切らないように声を掛け合いながら野菜切りに取り組んでいました。おかげで、手早くカレーを作り上げました。山の中で食べるカレーは格別においしかったです。

自分のことは自分で行き、規則正しい集団生活をした2日間。子供たちは、様々な活動を通して、自然のすばらしさや規律を守ること、互いに助け合うことの大切さを学びました。「まだまだ、宿泊学習を続けたい」という声があちこちから聞かれるほど、楽しく意味のある宿泊学習になりました。

